

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容①】 標準仕様のツールを積極的に活用し、自立した学習者を目指した学びのスキルの段階的な指導

課題	学習内容	めあて	今日の目標 よく見て描こう	今日の目標 下書きに彩色しよう。	今日の目標
風景画を描く (私たちの学校)	・スケッチをする。 ・私たちの学校を描く	(1) 描く場所を決定しよう。 (2) スケッチができる。 (3) 彩色をすることができる。	5月19日(金)	5月22日(月)	
			A スケッチ	彩色	



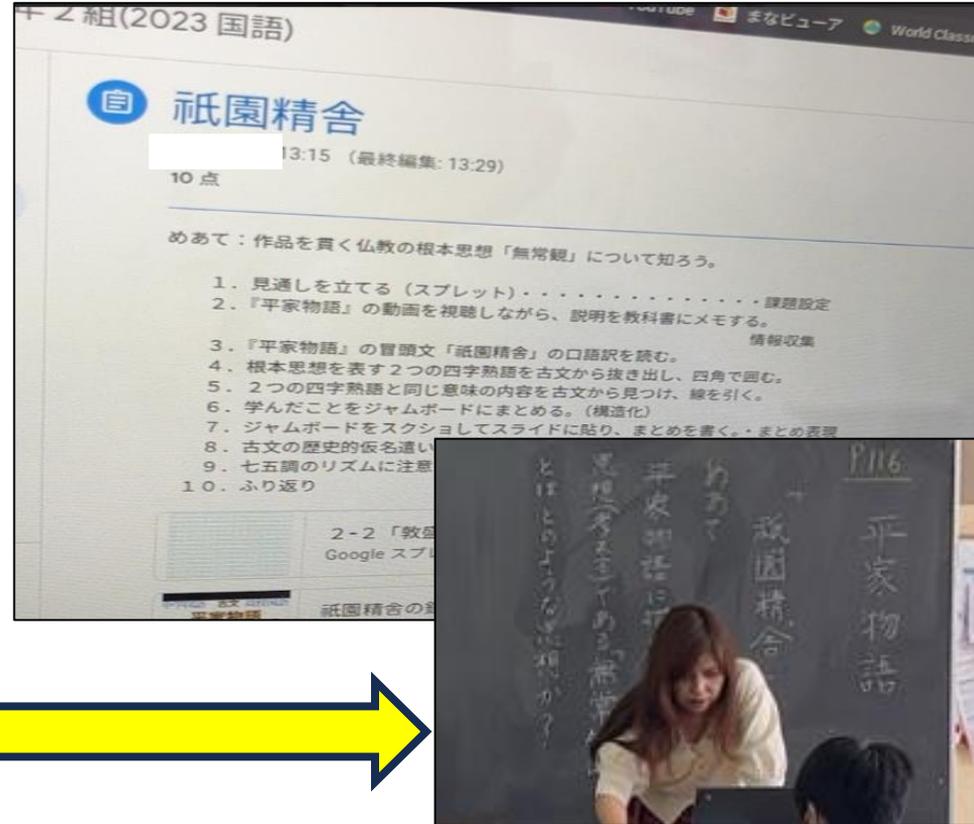
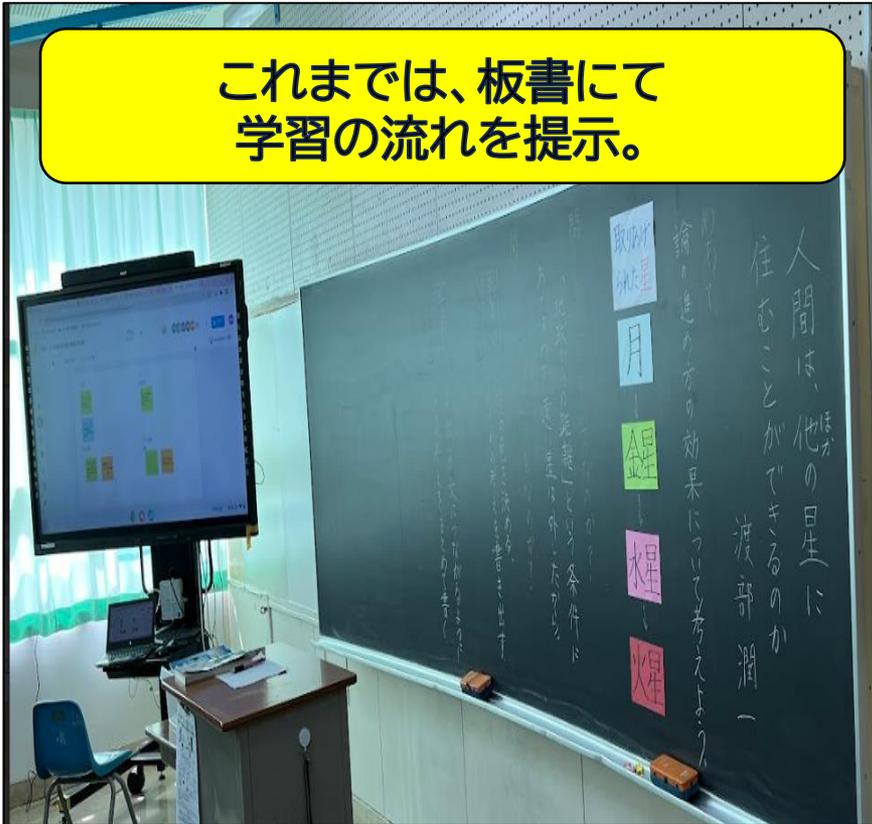
- これまでは教師が電子黒板などで学習の流れを提示し、学びの手引きとして示していたが、現在はクラスルームに移行。生徒が個別で学習の流れを確認している。今後も更なる標準仕様の活用に向けて活用法を共有していく。



Google Classroom

【取組内容①】 標準仕様のツールを積極的に活用し、自立した学習者を目指した学びのスキルの段階的な指導

これまでは、板書にて  
学習の流れを提示。

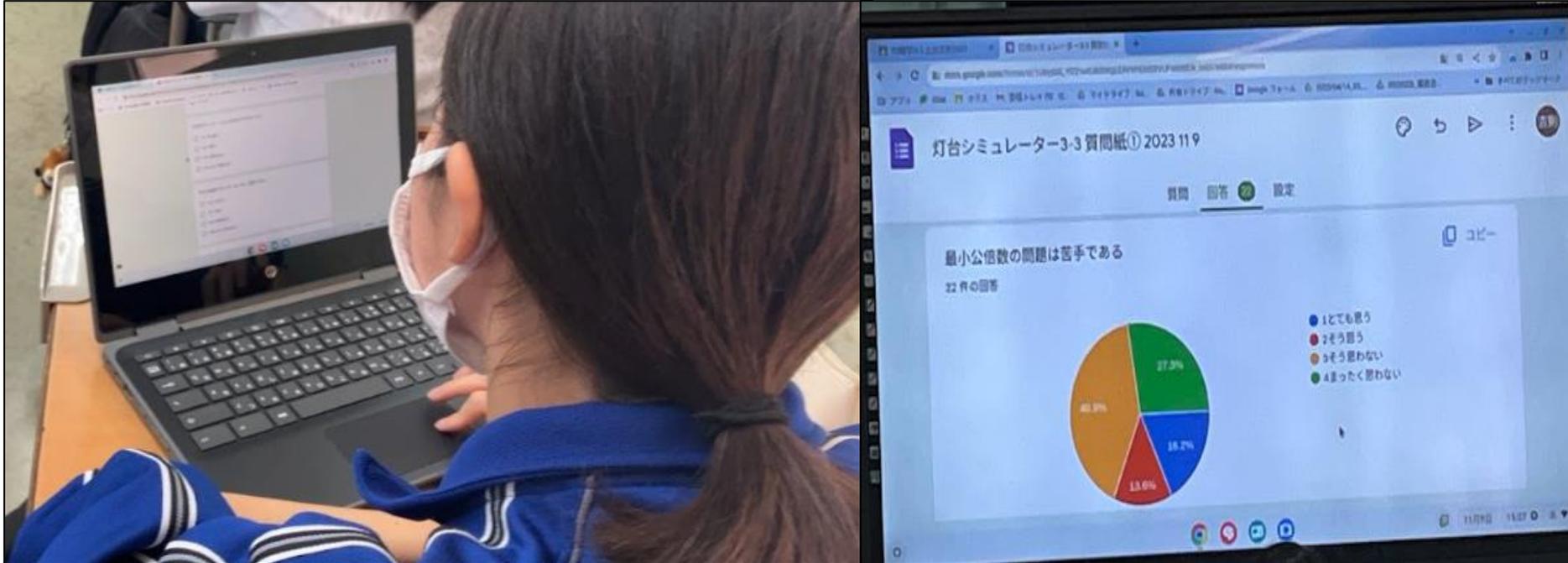


クラスルームを活用して授業の流れを提示している。  
それにより、板書の内容が精選されてきている。  
生徒に対して学び方をスモールステップで繰り返し指導を行うことでクラウドツールなどのスキル取得を図っている。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容①】 知識・技能の習得を目指して、Googleフォームでの振り返りやチェックテストの実施

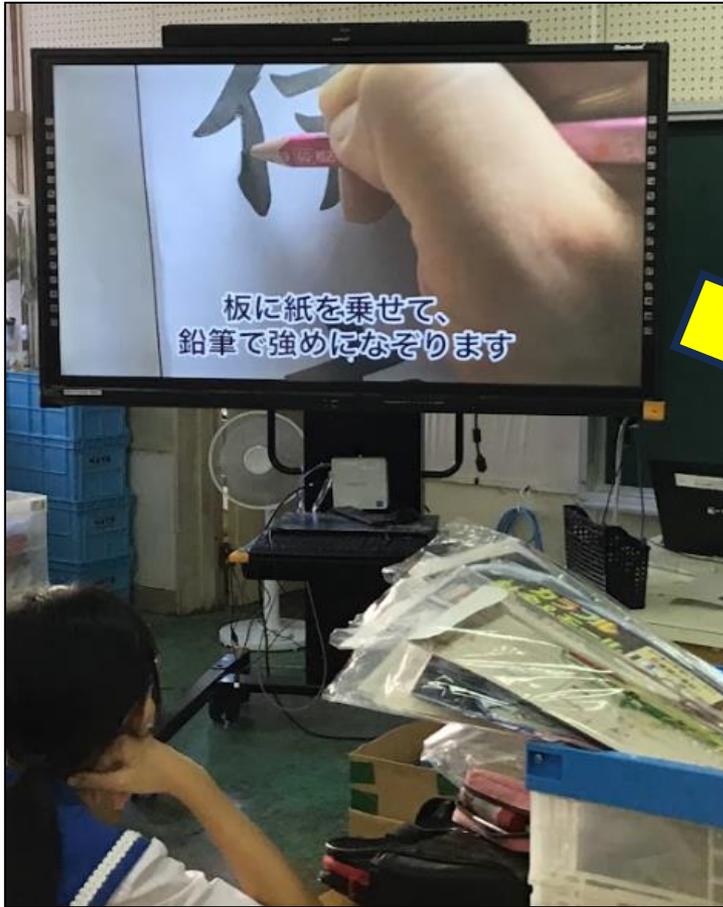


- 単元終了前のチェックテストや振り返りにGoogleフォームを活用してテスト実施。
- 自分自身の学びを振り返ることにより、メタ認知につなげ、自分自身の学び方への自己調整力の育成を目指す。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

## 【取組内容②】 授業での動画教材の活用



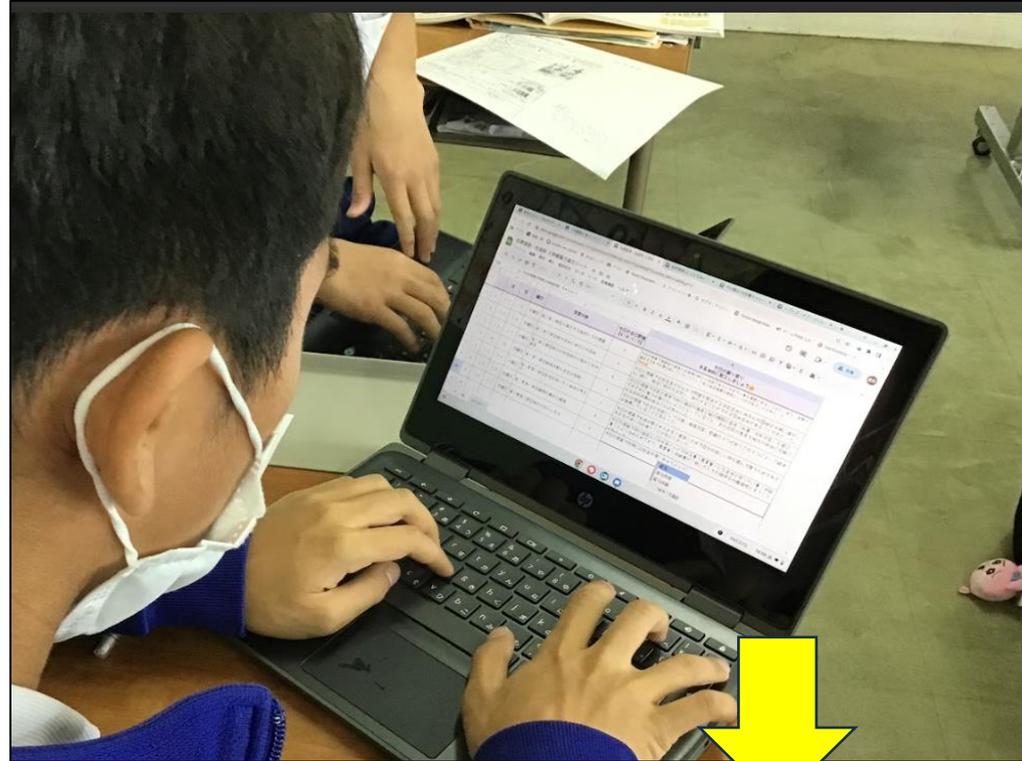
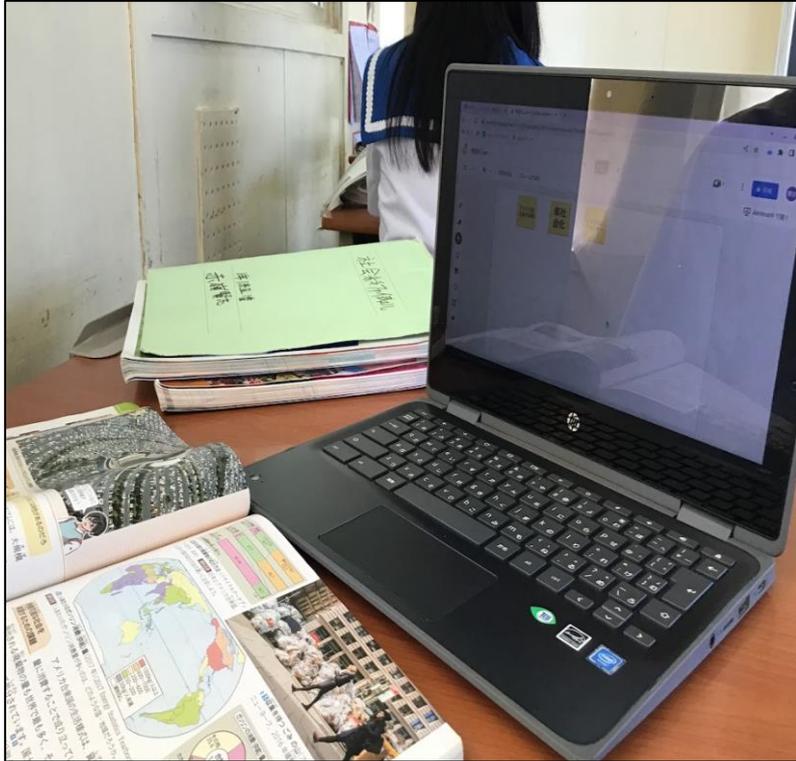
- 電子黒板を活用して一斉に流していた動画をクラスルームに配布することで、こどものペースで学び進めることができるようになった。
- 本時の学びの補完としてYouTubeを活用して自力で学び進めるようになってきた。

## 【取組内容②】 キャリア教育の視点で県外講師とオンライン授業の実施★第1回目



•総合的な学習の時間を活用し、県外の企業の方を講師にキャリア形成に向けた授業をオンラインで実施。

## 【取組内容③】 授業での学習内容を家庭で補完する家庭学習の実施

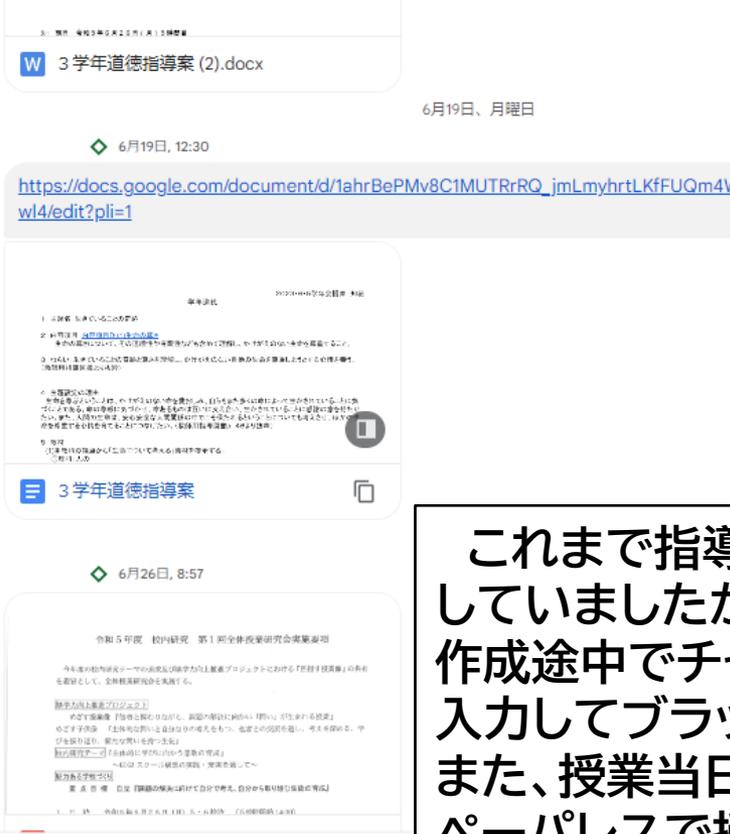


- 授業の中で学んだことを、スプレッドシートに振り返りとして入力し、クラウド上に保存。
- 端末を自宅に持ち帰り、振り返りの内容をもとに家庭での自己の学びに活かす。



【取組内容④】校務におけるGoogleアプリ・クラウドの活用

チャットを活用して指導助言を  
いただく主事と指導案検討も実施。



学年道徳 [2023・6・5 学年会提案]

1. 主観名: 生きていることの奇跡
2. 内容項目: **内容項目D-(1)生命の尊厳**  
生命の尊厳について、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。
3. ねらい: 生きていることの奇跡と尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。(教師用指導図書より抜粋)
4. 主観設定の理由  
生命を尊ぶということは、かけがえのない命を愛おしみ、自らもまた多くの命によって生かされていることに気づくことである。命の尊厳に気づかせ、命あるものは互いに支え合い、生かされていることに感謝の念を持たせたい。また、人間の生命は、安心安全な人間関係の中でこそ保たれるということについても考えさせ、ほかの生命を尊重する心情を育てることにつなげたい。(教師用指導図書p. 46より抜粋)
5. 教材  
(1)各教科の視点から「生命について考える」素材を提示する。  
①理科: 人の  
方法  
(1)各教科から、授業のねらいに迫る内容を、授業1時間のねらいに統合できるように授業を組み立てる。  
(2) 学年生徒の実態を鑑みて、空調・プレゼンテーションが良好に機能する場所を設定する(ラウンジルーム?)  
→ネット環境が不安定なため、3学年メディアへ変更 ←※こちらの環境も要確認

1. 期日 令和5年6月26日(月) 5時間目
2. 対象 3 学年
3. 授業者 3 学年職員 T1.司 T2.知花
4. 学年の実態  
(1)良い点  
入学当初から、明るく元気で活発である。「考える」ことが少し苦手だが、「動く」ことが得意。この数年のコロナ禍を乗り越えて、毎日の部活動練習に動き優秀な成績を残し、学年としての盛り上がりがあり、学校全体の牽引力となれる力も期待できる学年となった。  
1 学年からの職員のため余裕力と、見取りと、ケアによるところが大きい。これまでの先生方の、どの指導がどのようにこの子たちに効果を齎したかについて記録しておくことが、今後1年の糧となりそう。(よかったことも、悪かったことも、今後の指導のサンプルとして共有したほうがよい)
- (2)改善点  
じっとしていることが苦手な子が多い。  
事象に対して突発的に興奮したり行動することや生徒が多く、その流れに全体が引っ張られることが多々ある。それが好ましい方向のときはほらしいエネルギーとなるが、そうでないときの感情に任せられたりとなつて、教師側からの理由だけでは決して納得せず、反旗を翻す危険をはらむ。

ねらい→授業のどの場面で、何を考えさせたいか(中心発問は) 本時ではどのような所構を育てたいのか。

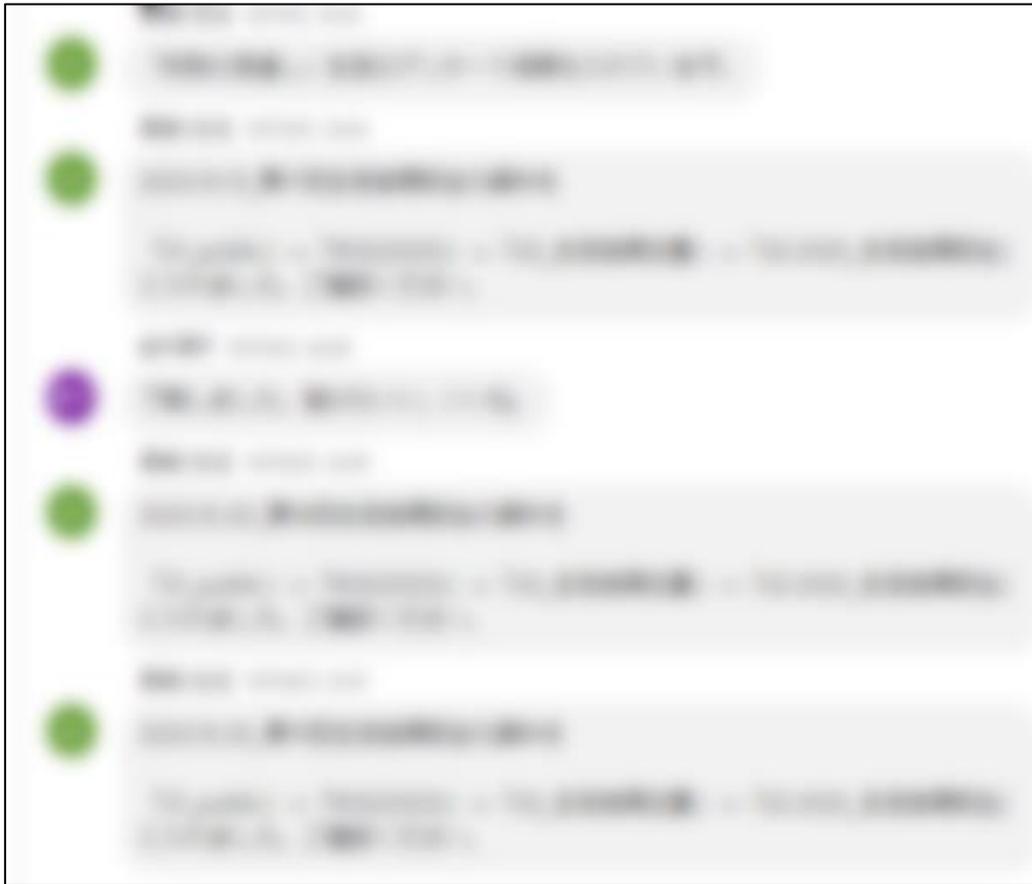
聖書の日、平和学習までつなげると話が大きくなりすぎて無理があるかなあと思いついた今日このごろ。生命尊重に限定するべきか?

自作教材を作るにあたって、教科横断的な視点で授業づくりをしたのでしょうか。別業との関連はありますか。

実態に関して、私の主観です。先生方のそれぞれのみとりをコメントしていただければ幸いです。

これまで指導案は、ローカル環境の文書作成ソフトで作成していましたが、今年度はドキュメントを活用して作成。作成途中でチャットにて、校内で共有を図り随時コメントを入力してブラッシュアップを図った。また、授業当日も端末にて指導案を共有しているため基本、ペーパーレスで授業研究会を行った。

【取組内容④】 チャットを活用し、授業だけでなく校務における情報共有の即時化を図る



👍 1

沖縄市立教育研究所研修係長 さんが ICT推進コーディネーター 富間 さんの役割をスペースの管理者に変更しました

動画は、個人のペース



これまでは、紙で共有していたこともファイルを共有して協働編集、伝達事項もチャットにてアップ。  
 今後は、授業での活用の様子を随時共有し、活用を広げていきたい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立安慶田中学校

【取組内容④】 スプレッドシートを活用し、週案作成

メモ等					
朝					
1	学級				3年3組
	教科名				技術
	単元名・内容				双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 コンテンツのプログラムを制作しよう フリーのクラウドソフトを利用して音楽演奏プログラムを制作する。
	出欠簿URL				
2	学級	3年4組	1年3組	2年2組	3年1組
	教科名	技術	家庭	家庭	技術
	単元名・内容	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 コンテンツのプログラムを制作しよう フリーのクラウドソフトを利用して音楽演奏プログラムを制作する。	生活の課題と実践 学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の食生活を見直す	家庭生活と地域との関わり 地域の活動などを調べ、自分や家族がどのように関わっているか考える。	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 コンテンツのプログラムを制作しよう フリーのクラウドソフトを利用して音楽演奏プログラムを制作する。
	出欠簿URL				
3	学級		1年3組	2年2組	2年2組
	教科名		家庭	家庭	家庭
	単元名・内容		生活の課題と実践 課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。	家庭生活と地域との関わり 家庭生活は、地域の人々とのつながりの中で成り立っており、相互の関わりによって生活をよりよくできることに気付かせる。	社会科の補欠
	出欠簿URL				
4	学級	3年2組			
	教科名	技術			
	単元名・内容	双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 コンテンツのプログラムを制作しよう フリーのクラウドソフトを利用して音楽演奏プログラムを制作する。			
	出欠簿URL				
昼					

今まで紙に記述していた週案をスプレッドシートで作成・入力することにチャレンジしました。  
チャレンジした先生の意見を参考に活用を推進していきたい。